

11	小国 118
学 図	

教科書文庫  
6  
810  
34-1949  
0130449928

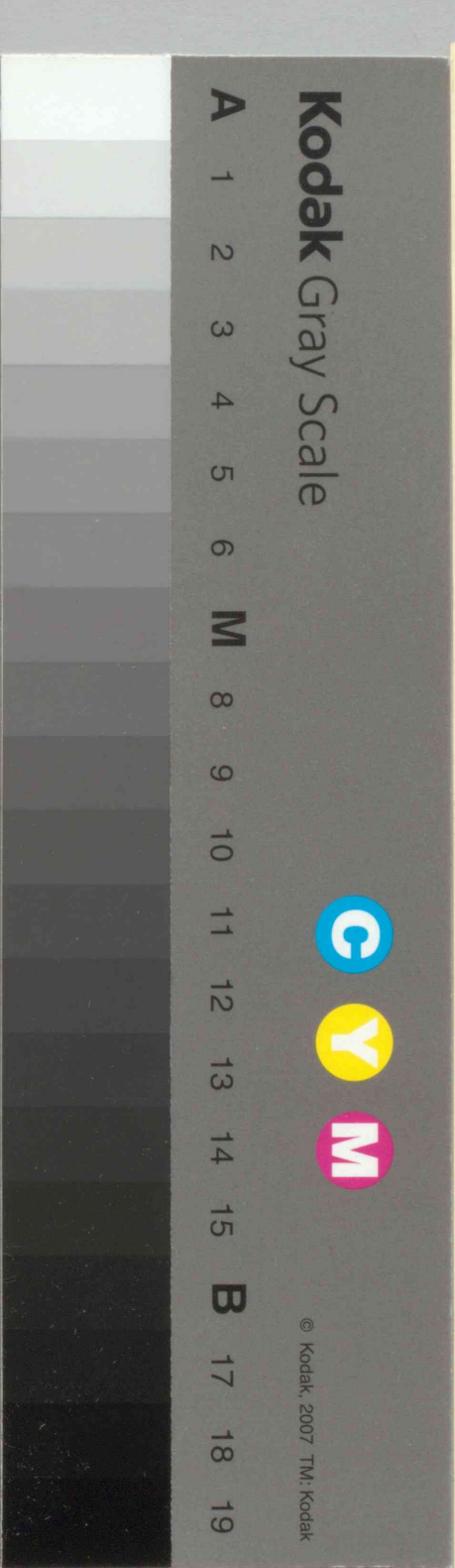
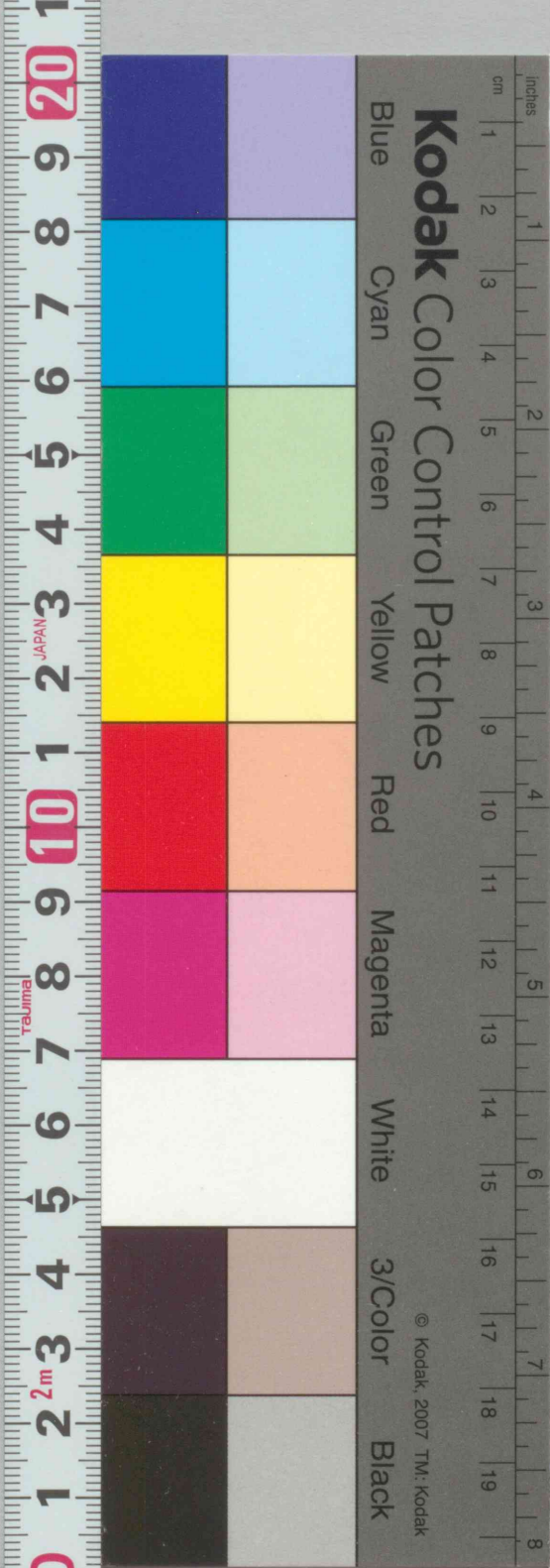
文 部 省 検 定 済 教 科 書  
法 財 人 団 学 校 図 書 研 究 会 編 修



ハレハレ！ねんせいの下

KC  
G16  
le

学校図書株式会社発行



60334

教科書文庫

6
810
34-1949
01304 49928

328



中央図書館

教科書文庫  
6  
810  
34-1949  
0130449928

昭和二十四年十月十日文部省検定済小学校国語科用

こくご一ねんせい  
下



学校図書株式会社

広島大学  
教育学部図書

広島大学図書  
0130449928

広島大学図書  
0130449928



もくろく

(一)

一 一ろうさんが きました

4

二 おむかえ..... 6

三 一ろうさんと いっしょに..... 11

四 おみせ..... 15

五 おさるさん..... 20

六 おはなしの本..... 23

(二)

きしゃごっこ

一 おきやくごっこ..... 27

二 きしゃごっこ..... 31

(三)

一 おしよがつ..... 34

二 なぞあそび..... 36

三 とらと うさぎ..... 38

四 ゆきだるま..... 44

(四)

ふゆの よる

一 タはん..... 49

二 かげえ..... 54

三 さんちゃんと りりちゃん..... 60

おしごとの てびき..... 69

あたらしく だた ことば..... 76

かんじ..... 79





(一) 一ろうさんが きました

一 一ろうさんから

おとうさんに てがみが  
きました。

おじさんからです。

おとうさんが、

「まさお、一ろうさんの  
てがみも はいって いるよ。」



と、おっしやいました。

まさおさんは、おとうさん

と いっしよに よみました。

「いねかりが すみました。」

おとうさんと いっしよに

いきます。かきをもつて

いきます。」

と、かいて ありました。

まさおさんは うれしくて

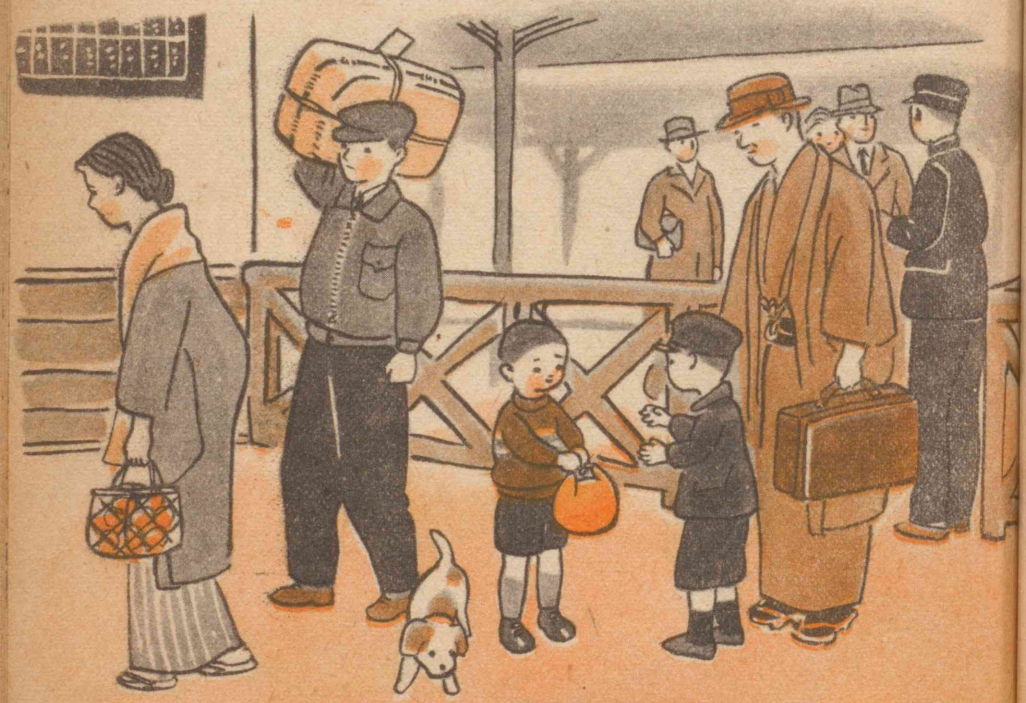
たまりませんでした。



二 おむかえ

まさおさんは、えきへ  
 おむかえに いきました。  
 えきは にぎやかです。  
 きしゃが きました。  
 おきやくさんが つづいて  
 でて きます。  
 おじさんと 一ろうさんも  
 でて きました。

まさおさんが、  
 「おじさん こんにちは」  
 「一ろうさん こんにちは」  
 と、いいました。  
 おじさんは、  
 「おむかえ ありがとう」  
 と、おっしゃいました。  
 まさおさんは、「一ろうさん」  
 の にもつを もって  
 あげました。



みんな  
でえきを  
ました。  
ひろい  
みちを、  
たくさん  
の人が  
ある  
いて  
います。  
じてん  
しゃが  
はしつ  
て  
います。

じどう  
しゃが  
はしつ  
て  
います。  
一ろ  
うさん  
が、  
「大き  
な い  
えで  
すね」  
と、い  
いま  
した。  
「あれ  
は、え  
いが  
か  
ん  
です。  
あれ  
より  
大き  
い い  
えも  
あり  
ます  
よ」  
と、ま  
さお  
さん  
が い  
いま  
した。  
えい  
がが  
すん  
だの  
でし  
ょう。





たくさんの人がでて  
きました。

一ろうさんは、おどろ  
いたようなかおをし  
ています。

「一ろうさん おいで。」

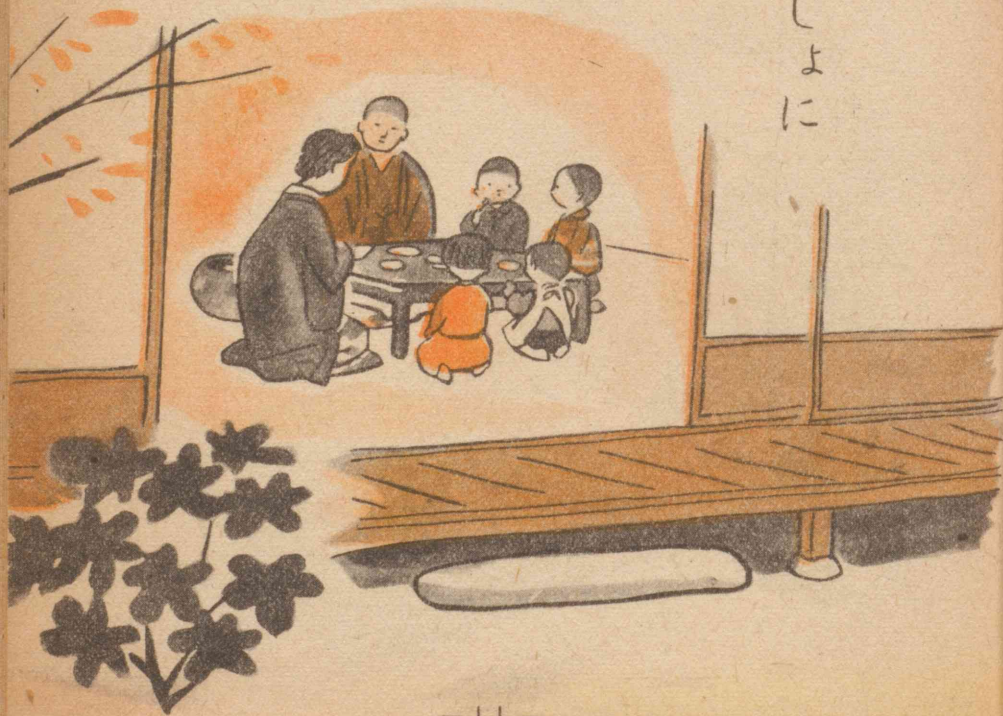
まさおさんは、一ろう  
さんと手を つないで  
あるきました。

三 一ろうさんと いっしょに

おみやげの かきを、みん  
なで たべました。

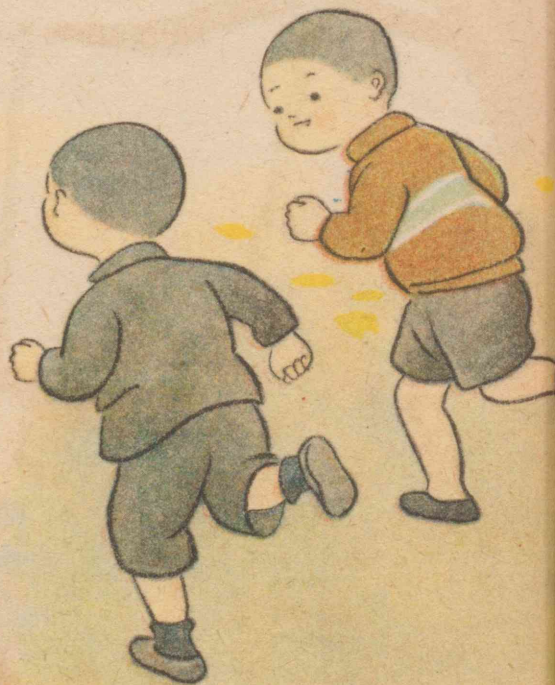
まさおさんは 一ろうさん  
と あそびました。

じどうしゃを はしらせて  
あそびました。





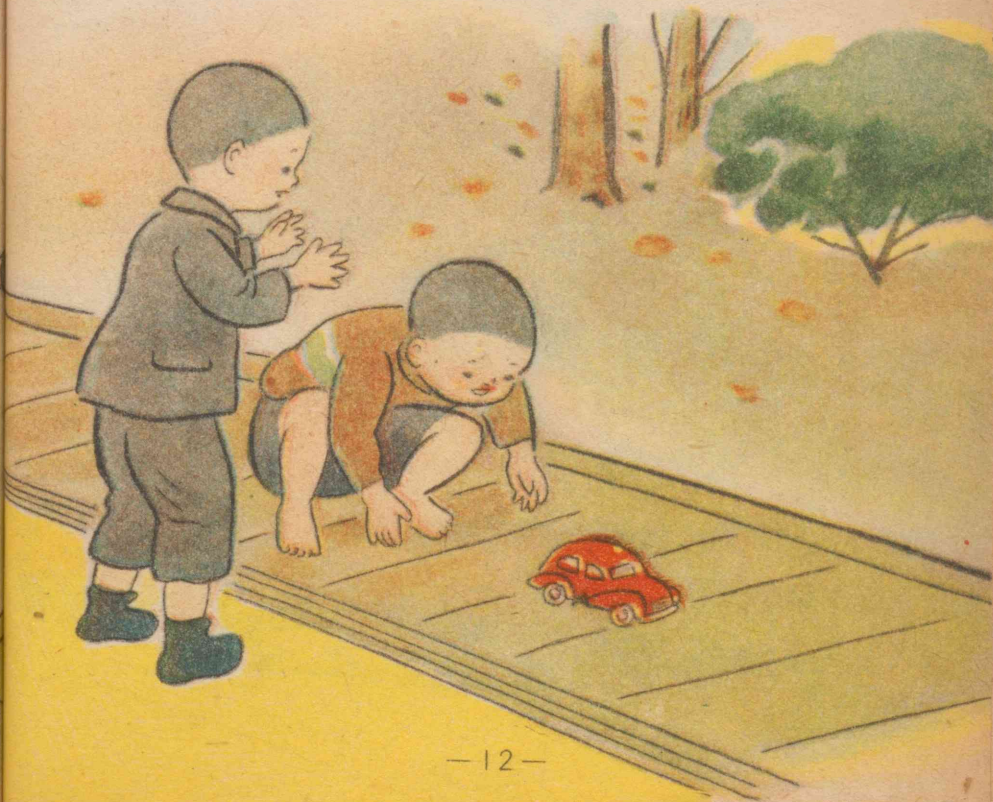
と、いいました。  
 「のりましよう。」  
 と、まさおさんが  
 いいました。  
 ぶらんこに



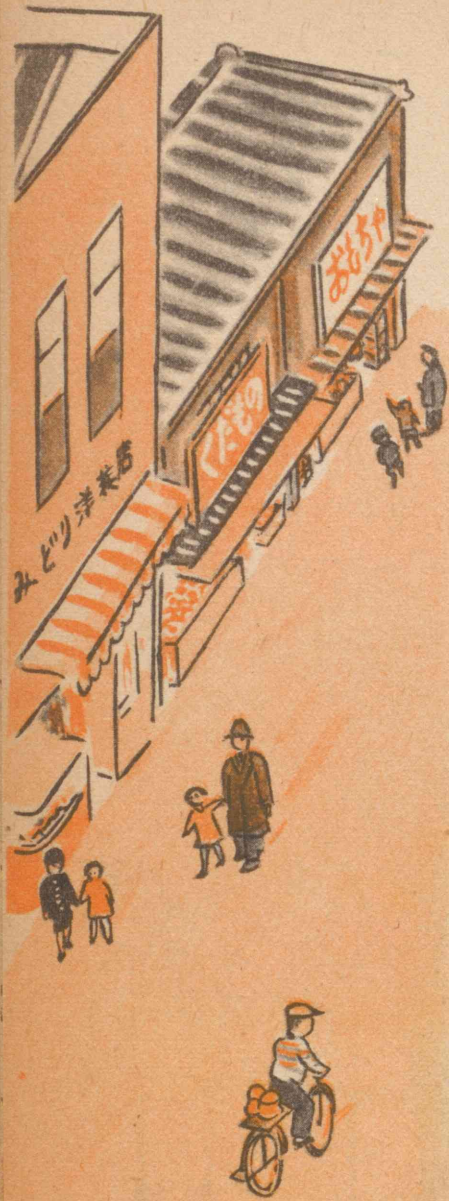
のる ことに しました。  
 一ろうさんが のりました。  
 まさおさんが のりました。  
 ゆれる、ゆれる。

ねじを まくと、じどう  
 しゃが はしります。  
 一ろうさんは、  
 「はしる、はしる。」  
 と、いって、手を たたき  
 ました。

なんべんも なんべんも、  
 はしらせて あそびました。  
 一ろうさんが、  
 「ぶらんこが あるね。」







まさおさんたちは、おかあさんと まちへ いきました。  
 まちには、たくさんのおみせが ならんで います。  
 おみせを みながら あるきました。

四 おみせ

一ろうさんが ゆれる。  
 まさおさんが ゆれる。  
 たかく ゆれます。  
 ひくく ゆれます。  
 ぶらんこが ゆれると  
 木が ゆれます。  
 あかい 木の はが  
 とんで いきます。



おもちゃやにはいり  
ました。

おかあさんが、

「一ろうさんは なにが

いいの。」

と、おっしゃいました。

一ろうさんは、

「じどうしゃです。」

と、いいました。

「まさおさんは なにが

いいの。」

と、おっしゃいました。

「つみ木です。」

と、まさおさんが いいま  
した。

じどうしゃと つみ木を

かいました。

よしこさんのおみやげ

には、おにんぎょうをか

いました。





となりの おみせには、みかんが 山のように ならべてあります。

かきも ならべて あります。きれいな ふくを ならべた、おみせも あります。

ぽすどの ところに、本やが ありました。

本やに はいりました。

おかあさんは、一ろうさん

と まさおさんに、おはなしの本を かって くださいました。

また、あるきました。

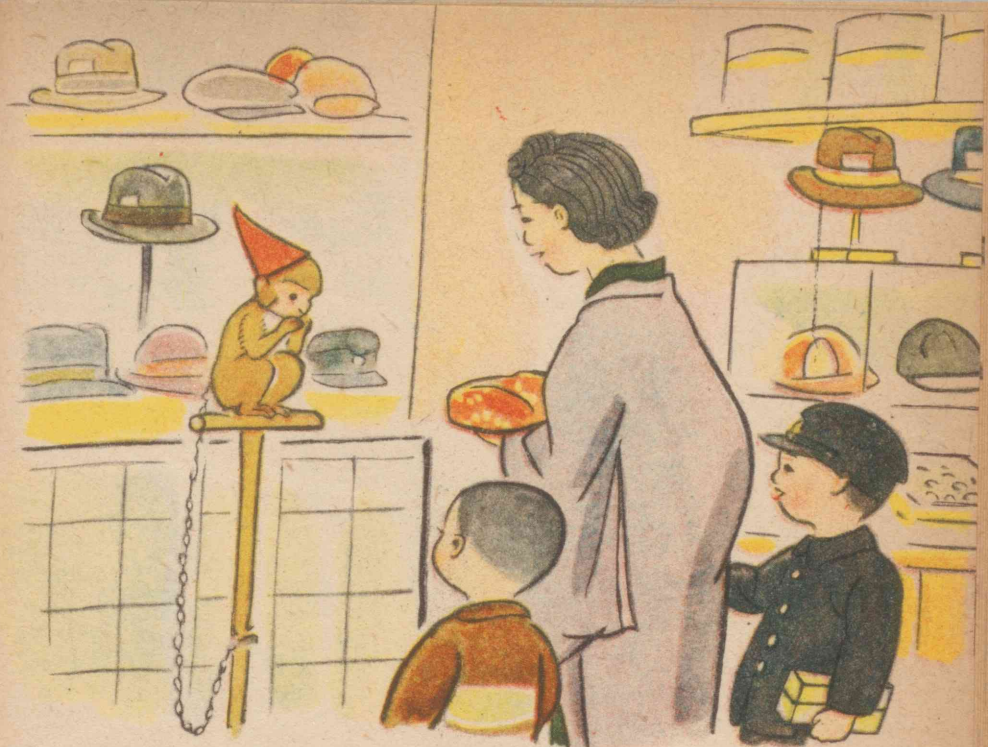
ぼうしやの おみせに、おさるさんが いました。

一ろうさんが、

「おさるさんが いますよ。」

と、大きな こえで いいました。





五 おさるさん

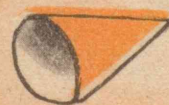
おさるさんは、ぼうしをかぶって、木の 上に、あがつて います。  
 あかい かおを して、みかんを たべて いました。  
 一ろうさんが、  
 「きやつ、きやつ。」  
 といつて、おさるさんの

まねを しました。  
 おさるさんは、木からとびおりました。  
 かぶつて いた ぼうしが、すうつと とんで いきました。  
 た。  
 みんなが わらいました。  
 おさるさんは おどろいて、はしつて いろいろ します。  
 つないで あるので、はしる ことが できません。

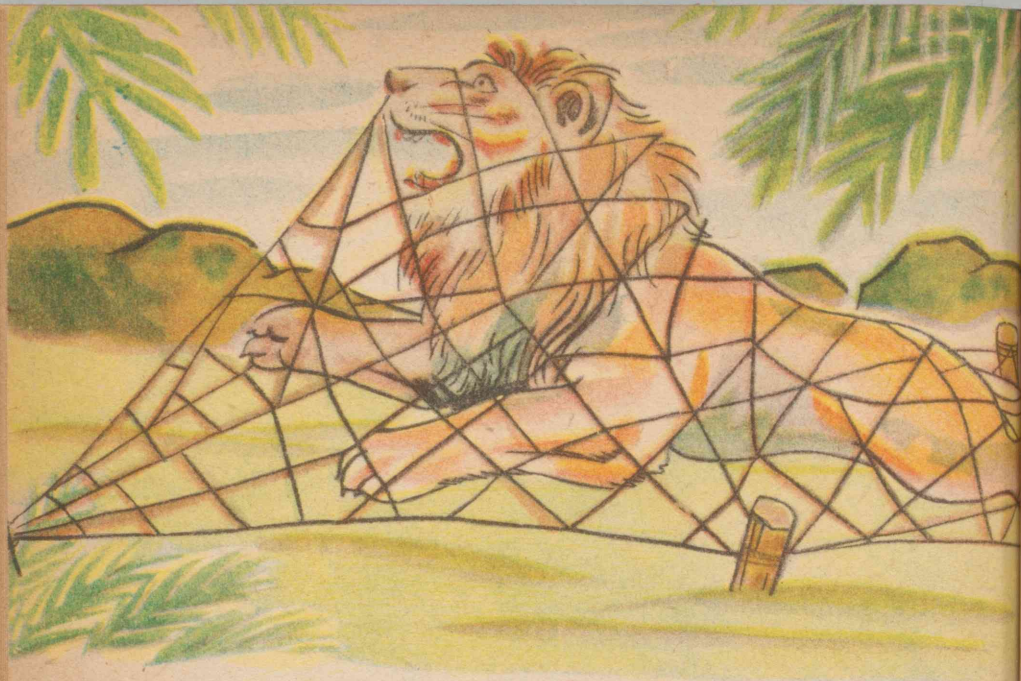




山の 中で、ししが ねて  
 いました。一ぴきの ねずみ  
 が あそびに ききました。  
 ねずみ「なんだろう。大きい  
 ものが いる。あがつて  
 みよう」。  
 しし「だれだ。ねむって い  
 たのに、おこしたのは……」



はしつては あとへ さがります。なんべんも なんべ  
 んも しました。おしまいは、木の 上に あがりまし  
 た。まさおさんが おちた ぼうしを ひろって、おさる  
 さんに やりました。おさるさんは、ぼうしを かぶって、  
 「きやつ、きやつ」。  
 ど、なきました。おもしろい おさるさんです。



しし「おや、へんな あみに  
 かつたぞ。うごけなく  
 なった。ああ、くるしい。  
 おれの ちからでは もう  
 だめだ。——たすけて く  
 れ。たすけて くれ。」  
 ねずみが でて きました。  
 ねずみ「ししさん、これは に  
 んげんの かけた あみで  
 すよ。わたくしが かみき

なんだ ねずみか。たべて  
 やらう。」  
 ねずみ「たすけて ください。  
 たすけて ください。」  
 しし「それなら たすけて  
 やらう。」  
 ねずみ「ありがとうございます。  
 きつと おれいを いたし  
 ます。」



つて あげましょう。

がりがり、がりがり。

しし「あ、あみが とれた。

からだ が じゆうに なつ

た。ねずみさん、ありがとう

う、ありがとう。」

ねずみ「ししさん、よかったね。

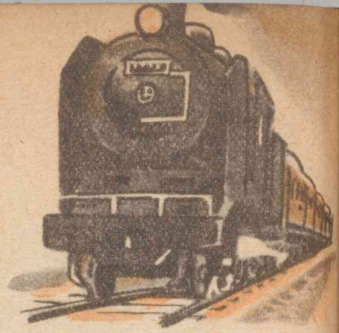
にんげんの こない うち

に、はやく にげなさい。」



(二) きしやごっこ

一 おきやくごっこ



まさおさんは、ゆきこさんと すみこさんを よんで  
きました。おきやくごっこを する ことに しました。

「わたくしは、おきやくさんに なりたい。」

と、すみこさんと ゆきこさんが いいました。

「ぼくも おきやくさんに なりたい。」

と、まさおさんが いいました。

みんなで じゃんけんを  
しました。

まさおさんと すみこさん  
が、おきやくさんに なりま  
した。

「ごめんください。」

「よくいらっしやいました。」

おあがりください。」

ゆきこさんは、おすなの

ごはんを だしました。

よしこさんは、木の は

のおかずを だしました。

「まさおさん、おあがり」

ください。」

「すみこさん、おあがり」

ください。」

まさおさんと すみこさん

は、たべる まねを しました。







ニ きしやごっこ

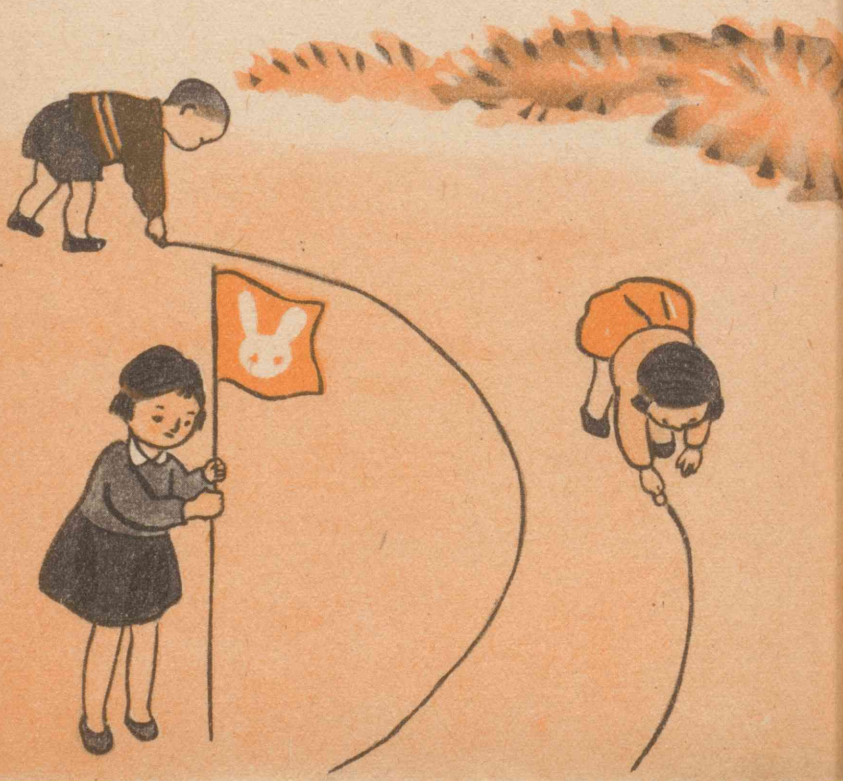
「ごちそうさまでした。」  
「おそまつでした。」

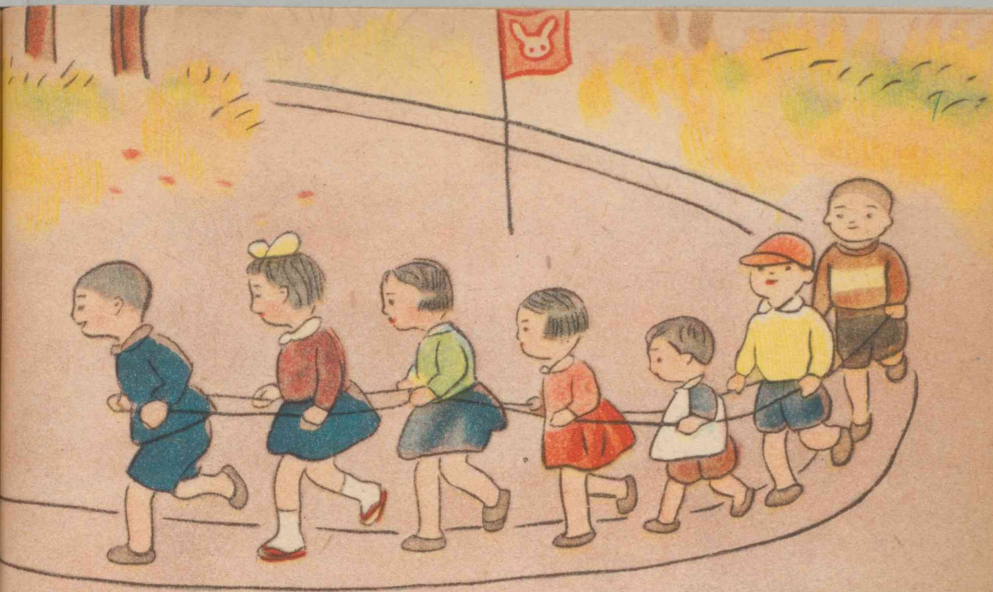
「こんどは、ゆきこさんと  
よしこさんが、おきやくさん  
になりました。」

みちおさんが あそびに  
きました。

「きしやごっこをする こと  
に しました。」

ゆきこさんと みちおさん  
は、おにわに すじを ひい  
て、れーるを つくりました。  
すみこさんが えきを つ  
くりました。  
まさおさんは しゃしよ  
うで、みちおさんが うんてん  
しゆです。





「みんな のりましたか。」  
「のりました。」

「ですすよ。」

まさおさんは、「びいっ」  
と、いいました。

きしゃ、きしゃ。

ぽっぽ、ぽっぽ、

しゅっぽ、しゅっぽ、

しゅっぽっぽ。

みんなは うたいながら、

はしって いきます。

きしゃは えきに つきました。

「うさぎえき、うさぎえき。」

よしこさんが のりました。

ひろしさんが のりました。

「ですすよ。」

まさおさんは、また、「びいっ」と、いいました。

まさおさんは、「ねずみえき」を わすれて、

「つぎの えきは、つぎの えきは。」

と、なんべんも いったので、みんなは わらいだしました。

(三) おしよがつ

— おしよがつ

おしよがつ、  
おしよがつ。

すずめ  
ちゅん、ちゅん。

おめでどう。  
おめでどう。



おしよがつ、  
おしよがつ。  
たこあげて、  
はねついて、  
みんな、にににこ。  
みんな、にににこ。





二 なぞあそび

まさおさんたちは、  
なぞあそびを しました。

よしこさんが なぞを  
かけました。

「だんだんばたけの  
しろばたけ、なあに。」

と、いいました。  
「がらすまどですか。」

と、ゆきこさんが いいました。

「ちがいます。」

「石だんでしょう。」

と、みちおさんが  
いいました。

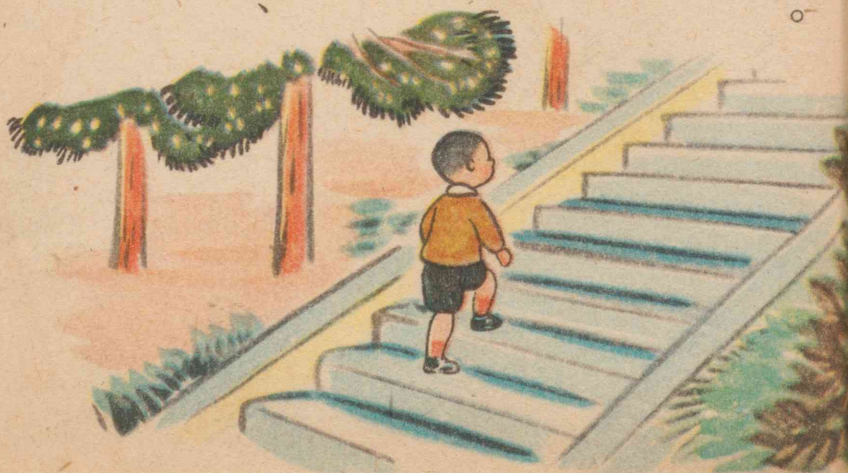
「ちがいます。」

まさおさんは、手を あげて、

「しよじです。」

と、いいました。

みんなは、手を たたきました





とらが、山の中から、えを みつけに できました。うさぎが くさを たべて います。とらは、うさぎを みつけ ました。とらは、うさぎを たべよ うと ちかやりました。



「けずれば けずるほど 大きくなる もの、なあに。」  
「どつても どつても とれない もの、なあに。」

「だして きて くださいと いうの」

三 とらと うさぎ



かわるがわる なぞを かけました。

「みる ときに みえないで、みない ときに みえる もの、なあに。」



うさぎは、おどろいて  
はしりだしました。

とらは、おいかけました。

しかが、あそんで、いました。

しかは、とらを、みて、

おどろいて、にげだしました。

しかの、あとから、うさぎ、

うさぎの、あとから、とら、

かけつこのようです。

とらは、うさぎも、しかも

たべられると、おもって、

よろこびました。

どんだん、おいかけました。

うさぎは、たべられそうに

なりました。

みると、あなたが、あります。

うさぎは、その、中には

いました。





あなを 見たら、もう うさぎは いまませんでした。

木の 上の ことが、うたいました。

「おもしろい、おもしろい。

けものの かけっこ

おもしろい。

あしの はやい

どらさんが、

じぶんの ちえで

まけました。」



どらは、うさぎを

たべようと おもって、とまりました。

ぐずぐずして いると、しかが にげます。

かえりに うさぎを たべようと

おもって、しかを おいかけました。

どうどう、しかを にがして しまいました。

どらは、うさぎを たべようと おもって かえりました。

四 ゆきだるま

おねえさん、ゆきだるまを  
つくろう。」

と、まさおさんが いいました。  
「つくろう、つくろう。」

と、ひろしさんも いいました。  
みんなは、そとに できました。  
しろも、うれしそうに ゆき  
の上を、はしって います。



まさおさんは、ゆきを  
かためて ころがしました。  
どんどん 大きく なって  
いきます。

もう、ひとりでは ころがせ  
ません。

おねえさんと いっしょに  
ころがしました。  
つぎに かおを つくり  
ました。







「ゆきだるまは おこつて いるよ。  
と、いいました。

よしこさんは、まゆげを つけかえました。

よしこさんが、すみをもつて きました。

まゆげと 目を つくりました。

おこつて いるような がおに なりました。

ひろしさんが、

わらつて いるようになりまし  
「ゆきだるまが わらいだした。  
と、ひろしさんも よろこびまし  
ゆきだるまは にこにこ  
うれしそうです。  
まさおさんは がっこうに  
いきました。  
みんなに、ゆきだるまの  
はなしを しました。





一 タはん  
 (四) ふゆの よる  
 タはんの よういが でき  
 きました。  
 みんなは ちやのまに  
 いきました。  
 おちやわんが、きれいに  
 ならんで います。

ゆきこさんが、  
 「わたくしも つくったのよ。」  
 と、いいました。  
 みちおさんも つくったと  
 いいました。  
 がっこうが すむと、まさおさんは  
 いそいで うちへ かえりました。  
 みると、ゆきだるまは 小さく なって  
 いました。



おなべから ゆげが

あがって います。

「いただきますしよ。」

と、おとうさんが おっしや  
いました。

「いただきます。」

「いただきます。」

と いった、はしを とり  
ました。

みんなは、おいしそうに

たべて います。

まさおさんが、

「ひろしさん、ひろしさん  
と、いいました。」

みんなは、ひろしさんの  
かおを みました。

ひろしさんの かおには、  
ごはんつぶが ふたつ つ  
いて います。

みんなが わらいました。



ごはんが すんで おはなしを  
しました。

らじおから、

「うさぎの でんぽう」

の うたが、きこえて きます。

おかあさんが、

「よしこさん、おどつて ごらん」

と、おっしゃいました。

よしこさんは、

「えっさっさ、えっさっさ」

と うたいながら、じょうずに おどりました。

みんなは 手を たたきました。

その とき、

「ごめんください」

という、こえが しました。

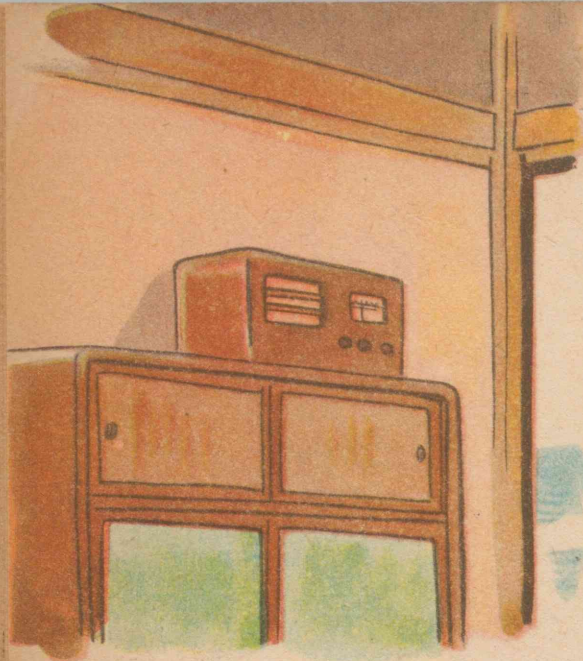
おねえさんが でて みると、

ゆきこさんでした。

まさおさんは ゆきこさんと、

みちおさんの うちへ いきま

した。



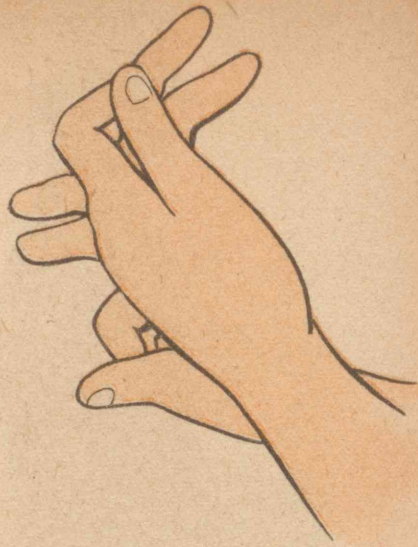
二 かげえ

みちおさんのうちでは、もう、かげえがはじまっていた。  
いきました。

すみこさんがして  
います。

「うさぎさんよ。お耳が  
ぴく、ぴく。」

こんどは、ゆきこさんが  
しました。



「これは、きつね。こんこん、こ  
んこん。」  
まさおさんもしました。  
「しろです。わんわん、わんわん。」

そのとき、みちおさんのお  
とうさんがいらつしゃい  
ました。

「おもしろそうだね。こんど  
は、おじさんがしますよ。」



と、おっしやいました。  
 みんなは よろこんで  
 手を たたきました。  
 おじさんは、

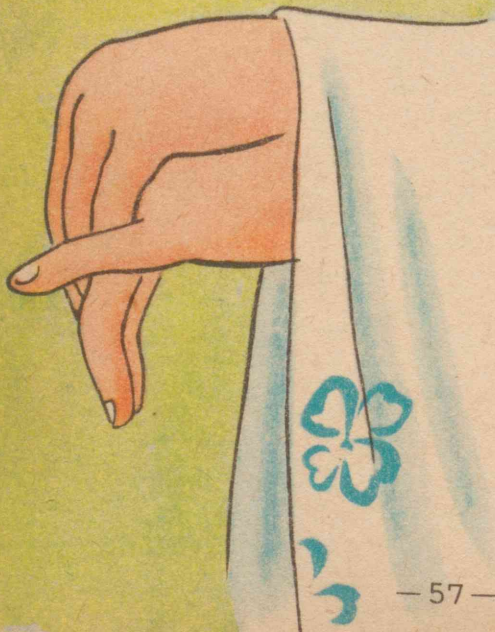


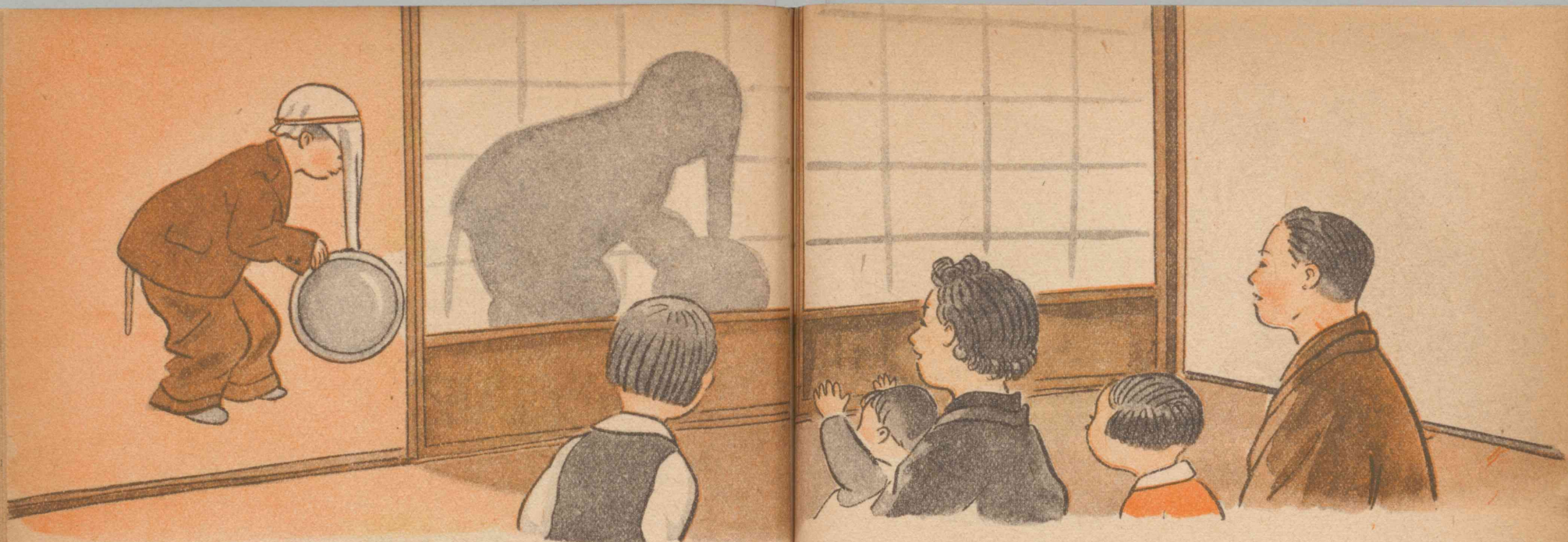
「なにに みえますか。」  
 と、おっしやいました。  
 「おかあさんです。」  
 「では、これは。」  
 「ぞうです。」



「できますよ。」  
 と、大きな こえで  
 いい  
 ました。  
 「それは おもしろい。では  
 して ごらん。」

みんなは いっしょに いいま  
 した。  
 みちおさんが、  
 「おとうさん、ぞうの 玉のりが





みちおさんは にこにこ  
 しながら、しょうじの む  
 こうへ いきました。  
 「これは ぞうです。」  
 「こんどは 玉のり。はい、  
 できました。」  
 みんなは、  
 「じょうず、じょうず。」  
 と、手を たたきました。  
 かげえが すんでから、

みんなで おはなしを しま  
 した。  
 まさおさんは、  
 「かわいい ひよこ。」  
 と、いう、おはなしを しま  
 した。  
 おじさんは、  
 「さんちゃんど りりちゃん。」  
 と、いう、おはなしを して  
 くださいました。

三 きんちゃんど りりちゃん

はるが きましたすが、うさぎさんの うちには ゆきが  
ふって いました。

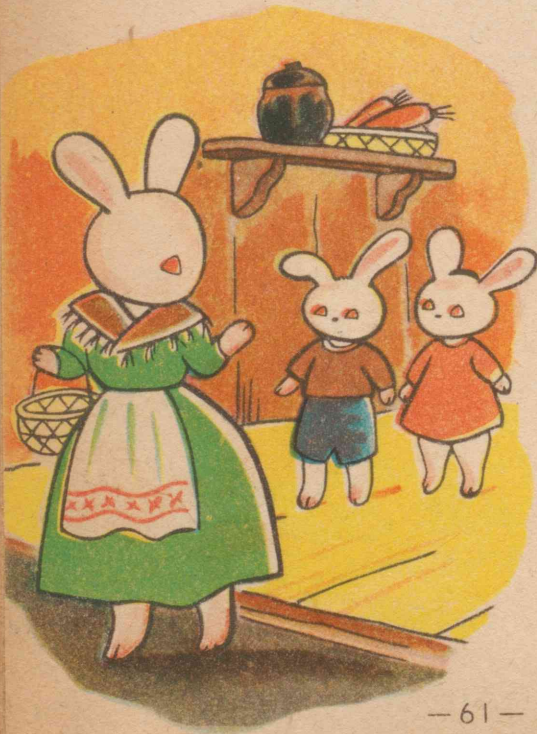


ある 日の ことです。  
おかあさんうさぎは、  
「おかあさんは まちへ い  
つて きますよ。さんちや  
んも りりちゃんも、おう  
ちに いらっしやいね。」

あそびに でては いけませんよ。  
と、なんべんも なんべんも 行って、でて きました。  
ふたりは おうちの 中で、つみ木を したり、おきや  
くごっこを したり して、あそんで いました。

「ごめんください。  
ごめんください。」  
と いう、こえが します。

りりちゃんが でて みる。  
と、おともだちの りすさん  
です。

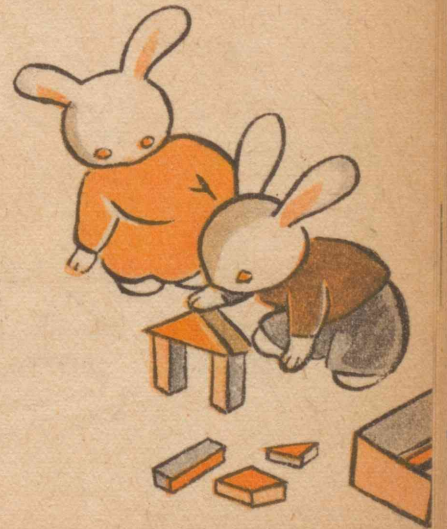




りすさんは、  
 「りりちゃん、あそびに  
 いきましょう。」  
 「さんちゃんも  
 いきましょう。」



と、いいました。  
 「さんちゃんは、  
 おかあさんが あそびに  
 であは いけないと、おっしや  
 ったのよ。」



「やあ、これは おもしろい。」  
 「さんちゃんは 大よろこび  
 です。」  
 「これは おもしろいわ。」  
 「りりちゃんも 大よろこび」



と、いいました。  
 「いいじゃないの。いこうよ、  
 いこうよ。」  
 と、りすさんが いいました。  
 ふたりは あそびに できました。



です。

みんなは かけっこを したり、ゆきだるまをつくったりして、あそびました。そのうちに、また、ゆきが



ふつて きました。

日も くれて きました。

りすさんは、

「もう かえるよ。」



「さんちゃん、さようなら。」

「りりちゃん、さようなら。」

と、いって、むこうの山へ

はしって きました。

ふたりは、また、あそび

ました。

ころころとゆきの中を

ころがって あそびました。

よるに なって しまい

ました。

かえろうと しましたが、





「さんちゃんたち、どうして

いるかしら。」

とおもいながら、山を

のぼって きました。

みると、ゆきの中

で

なにか うごいて います。

「おや。」

とおもって、ちかよって

みると、さんちゃんたちで

した。

「どう

したの。」

みちが わかりません。  
ゆきは どんどん ふって  
きます。  
りりちゃんは なきだして  
しまいました。  
さんちゃんも なきだして  
しまいました。  
ふたりは ゆきの中、小さく なって いました。  
おかあさんうさぎは、



おかあさんうさぎは、おどろいて  
よびました。

さんちゃんどりりちゃんは、

「おかあさん。」

「おかあさん。」

と、いって、

おかあさんうさぎに  
だきつきました。

おしごとのてびき



(一) 一ろうさんがきました

「一ろうさんがきました」の

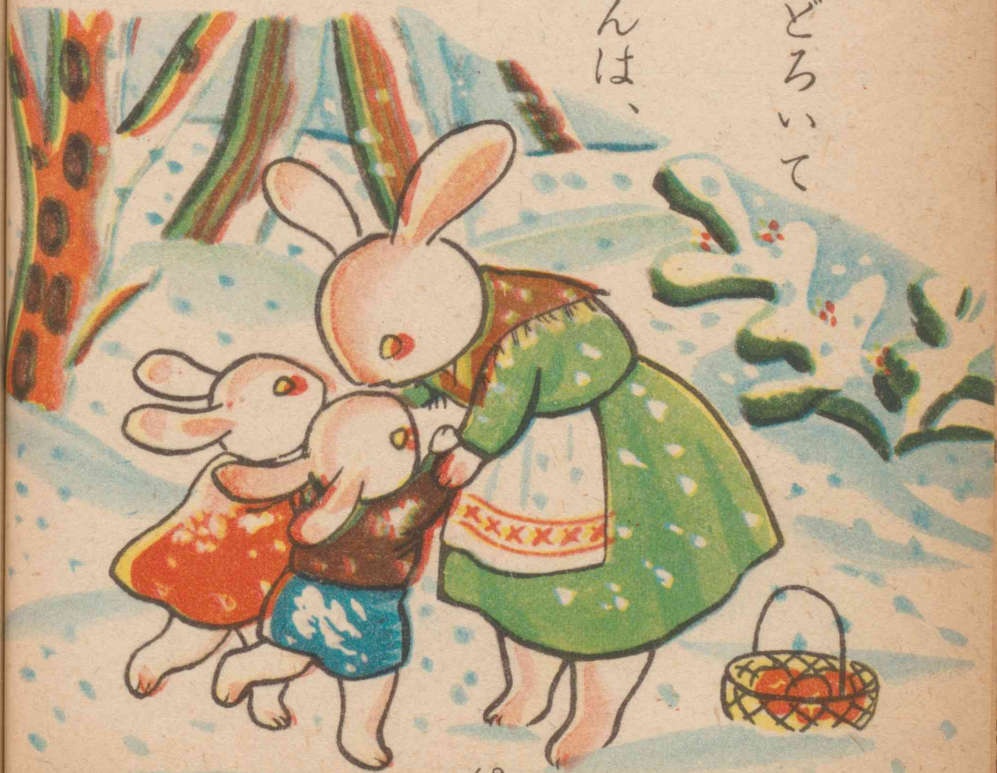
ところを  
よみましょう。

○一ろうさんはだれときましたか。

○まさおさんはだれをおむかえに  
いきましたか。

○まさおさんは一ろうさんとなにを  
しましたか。

したことに○をつけなさい。



おべんとうをたべました。

まちへいきました。

えをかきました。

ぶらんこにのりました。

すべりだいであそびました。

おみせをみました。

じどうしゃにのりました。

おさるさんをみました。

やまへのぼりました。

2 まちへいってなにをみましたか。

みたじゆんにならべなさい。

おさるさん。

おもちゃ。

みかん。

ふく。

ぼすと。

ほんや。

3 おさるさんは どこに いましたか。

の おみせに いました。

4 の なかに ことばを いれて、お

はなが わかるように しなさい。

○えき おむかえに いきました。

えき にぎやかです。

みんなで えき でした。

○ぶらんこが ゆれる。

ゆれる、。

が ゆれる。

まさおさんが ゆれる。

たかく 。

ゆれます。

○まさおさんは を かって も

らいました。

一ろうさんは を かって

もらいました。

まさおさんと は、おはな

しの を かって もらいました。

○おはなしの本

と の おはなしです。

ししは ねずみを しました。

ねずみは ししを しました。

(二) きしやごっこ

1 おきやくごっこを して いる 人

は、○を つけなさい。

きしやごっこを して いる 人には

△を つけなさい。

まさおくん。 ねえさん。

よしこさん。 みちおさん。

ゆきこさん。

すみこさん。

2 の なかに ことばを いれて、お

はなが わかるように しなさい。

ゆきこさんは、おすなの を

。

よしこさんは、木の の

を 。

おきやくさんは、

と、いいました。

おうちの 人は、よく

と、いいました。

(三) おしよがつ

1 おはなししましょう。

○おしよがつには、どんな ことをして あそびますか。

○なぞあそびをした ことが ありますか。

どんな なぞを して いますか。

○どらと うさぎの ところを よみますか。

どらは、うさぎも しかも たべられませんかでしたね。どうしてでしょう。

○ゆきだるまの ところを よみますか。

ゆきだるまは、だれと だれが つくりましたか。

2 □の なかに ことばを 入れて、おはなしが わかるように ください。

○よしこさんが なぞを □□□□。

○どらは □□□□を みつけました。

うさぎは、□□□□□□ はしりだしました。

しかの □□□□□□ うさぎ。

□□□の あとから □□。

○よしこさんが すみをもつて ききました。

□□□と □を つくりました。

ゆきだるまは、□□□□□ うれしそうです。

3 ました。ます。

うさぎが くさを たべて います。

みると あなたが あります。

おいかけました。

よろこびました。

4 ことばあそびを しましょう。

○おともたちと「しりとり」をして あそびましょう。

○はじめの ことばから おもいだした ことばを、つぎつぎと かいて みましょう。

おみやげ——おとうさん——

おかあさん——おなべ——ゆげ

——けむり——

お日さま——

うさぎ——

おしょうがつ——

(四) ふゆの よる。

夕はんの ところを よんで、みんな  
が わらった ところには ○、みん  
なが 手を たたいた ところには  
△を つけなさい。

らじおが きこえて きた ところ。

よしこさんが おどった ところ。

みんなが ちゃのまに あつまった  
ところ。

みんなが ひろしさんの かおを  
みた ところ。

2

□の なかに ことばを いれて、お  
はなが わかるように しなさい。

○□□□さんが「ごめんください。」と  
いって きました。

○らじおから「□□□の □□□□」  
の うたが きこえて きます。

○□□□さんは、きつねの かげえを  
しました。

○□□□さんは、□□の 玉のりの か  
げえを しました。

3 さんちゃんと りりちゃんの ところ  
を よんで、おはなしの じゆんに  
ならべなさい。

○さんちゃんと りりちゃんは おかあ  
さんうさぎに だきつきました。

○りすさんが「ごめんください。」と  
いって きました。

○おかあさんうさぎは まちへ でて  
いきました。

○さんちゃんと りりちゃんは ゆき  
の なかで、小さく なって いま  
した。

○さんちゃんと りりちゃんは、りす  
さんと かけっこを しました。

○さんちゃんと りりちゃんは おう  
ちの なかで、おきやくごっこを  
して あそびました。

○りすさんが かえりました。



あたらしく できた ことば

あ	うごけなく(うごく)	25
ああ	うんてんしゅ	31
あし	えいがかん(えいが)	9
あな	えき	6
あみ	おあがりください(あがる)	28
ある	おいかけました(おいかける)	40
あれ	おかず	29
	おきやくごっこ	27
	おきやくさん	6
いけません(いけない)	おこって(おこる)	46
いしだん	おこした(おこす)	23
いそいで(いそぐ)	おどって(おどる)	52
いたします(いたす)	おどろいた(おどろく)	10
いただきます(いただく)	おめでどう	34
いちろうさん	ごちそうさま	30
いねかり	ごどり	43
いれて(いれる)	ごはん	29
	ごはんつぶ	51
	ごめんください	28
	ごらん	52
	これ(は)	25
	こんこん	55
	こんど(は)	30
	こんにちは	7
ぐずぐずして(ぐずぐずする)	さがります(さがる)	22
くたさいました(くださる)	さる(おさるさん)	19
くるしい	さんちゃん	59
くれ(くれる)	しか	40
くれて(くれる)	しし	23
	じてんしゃ	8
けずれば(けずる)		
けもの		

かりがり	じどうしゃ	9
かわいそう	じぶん	43
かわるがわる	しまい(おしまい)	22
	しゃしゅう	31
	じゆう	26
	じゆうじ	37
	じょうずに	53
	しょうがつ(おしょうがつ)	34
	すじ	31
	すずめ	34
	すみ	46
	ぞう	56
	そと	44
	その	41
	そまつ(おそまつ)	30
	そんなに	24



みかん	18	よみました(よむ)	5
まゆげ	46	よく	28
まね	21	ようい	49
まち	15	ゆれる	14
まく	12	ゆげ	50
ほんや(ほん)	18	ゆき	44
		ゆきだるま(ゆき)	27
ぶらんこ	13	やあ	63
ふゆ	49	むこう	58
ふって(ふる)	60	むかえ(おむかえ)	6
ひろって(ひろう)	22	みつけ(みつける)	11
ひとり	45	みやげ(おみやげ)	39
ぴく	54	みちおさん	30
ひいて(ひく)	31	みせ(おみせ)	15
よる	49		
りりちゃん	59		
りす(りすさん)	61		
れーる	31		
わすれて(わすれる)	33		
わたくし	25		

手(10) 木(14) 本(18)  
 石(37) 目(46) 小(48)  
 夕(49) 耳(54) 玉(57)

かんじ

だきつきました(だきつく)	68	つみき	17
たくさん	8	なが(で)	23
たこ	35	なぞ(あそび)	36
たすけてください(たすける)	24	ならべて(ならべる)	18
たたきました(たたく)	12	ならんで(ならぶ)	15
たまのり	57	なりたい	27
たまりませんでした(たまらない)	5	となり	18
だめ	25	とびおりました(とびおる)	21
だんだんばたけ	36	とら	39
ちがいます(ちがう)	37	とれた(とれる)	26
ちから	25	とんとん	41
ちえ	43	なか(で)	23
ちやのま	49	なぞ(あそび)	36
ちゆん	34	ならべて(ならべる)	18
つき	33	ならんで(ならぶ)	15
つけかえました(つけかえる)	46	なりたい	27
にぎやか	6		
にもつ	7		
にあ(おにわ)	31		
にんげん	25		
ねじ	12		
ねずみ	23		
ねむって(ねむる)	23		
のりましよう(のる)	13		
のぼって(のぼる)	67		
は	14		
はし	50		
はじまって(はじまる)	54		
はね	35		
はる	60		



広島大学図書

0130449928



広島大学図書

0130449928

